

音楽芸能スタッフ科Ⅱ部 照明コース  
1年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養 I	74	2	4
講義	音楽史 I	74	2	4
講義	コンサートスタッフ知識 I	74	2	4
実習	CAD I	74	2	2
実習	イクイップメント I	74	2	2
実習	照明 I	74	2	2
演習	スタッフワーク I	74	2	4
合計		518	14	22

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部 PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
<p>①学生と社会人の違いを知り、社会人として必要なビジネスの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたりを学ぶ。                  ②接遇の基本である第一印象、あいさつ、身だしなみ、態度、表情、言葉遣い、話し方・聞き方から、ビジネス文書、電話対応、仕事の進め方等を習得する。                  就職活動において、自己PRや立ち居振舞いを実践し面接試験をクリアできる基本を学ぶ。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・就職後に役立つビジネスマナーや社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えをもつことができ、組織にとって必要な人材になることができるようになる。</p> <p>・対人関係においてコミュニケーションを向上し、円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることができる。                  ビジネスマナーと接遇の基本の考え方を理解し、体得することによって実務能力を実践的に使えるようになる。                  就職活動方法及び面接・筆記試験対策を実践形式で行い、次年度の就職準備を整えることを目標とする。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・自分の第一印象とセルフイメージ(信頼印象力) ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 5～8回目	・マナーとは？ ・マナーの5原則
【前期】 9～12回目	・言葉づかいとコミュニケーション ・敬語を使った自己紹介文作成
【前期】 13～16回目	・電話対応。(かけ方、受け方、取り次ぎ方)
【前期】 17～19回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 20～23回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・一般常識
【後期】 24～27回目	・SPI対策 ・自己PR、志望動機作成
【後期】 28～31回目	・エントリーシート、履歴書の書き方
【後期】 32～35回目	・面接対策
【後期】 36～37回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	授業では自分を知ることで自身の長所・短所をどのように変えていけばよいのかについて考えていきます。更にキャリアビジョンについて考えることで自分の目標設定ができ、これからの学内の過ごし方や授業への取り組み方について考えることができます。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部 PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、翌年にはビクターエンタテインメントよりメジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
<b>授業概要</b>					
<p>①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。</p> <p>②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・音楽史を学ぶ事により、数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、それぞれの現場において、演者が目指すであろう音楽像を、様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や、技術提供を通して、音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。</p> <p>・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 5～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～11回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 12～14回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 15～18回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 19～21回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 22～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～29回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 30～37回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知ることとはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。 上記の経験を活かし舞台照明技術の発展に関する講義を行う。				
<b>授業概要</b>					
①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備や光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。また、ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。</li> <li>・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	仮説システムの照明の仕事① 概要説明。
【前期】 5～8回目	仮説システムの照明の仕事② 照明器具の吊り込み。
【前期】 9～12回目	仮説システムの照明の仕事③ 照明システムについて。
【前期】 13～16回目	仮説システムの照明の仕事④ 安全対策、養生テープについて。
【前期】 17～19回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	劇場設備の学習 舞台構造、名称の解説。
【後期】 24～27回目	劇場照明の学習 設備、名称の解説。
【後期】 28～31回目	劇場照明の学習 仕込みの解説。
【後期】 32～35回目	劇場照明の学習 撤収・劇場を使用する時のマナーの解説。
【後期】 36～37回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	特になし。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレート I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	CAD I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし舞台照明技術の発展に関する講義を行う。				
<b>授業概要</b>					
<p>①CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の制作を行う。</p> <p>②実際に様々なイベントの仕込み図を制作し、各シチュエーションにおける制作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成して、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用方法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。</p> <p>・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	各コマンドの説明と練習。
【前期】 5～8回目	レイヤ、クラス概念説明とそれぞれを行き来した作図練習①
【前期】 9～12回目	レイヤ、クラス概念説明とそれぞれを行き来した作図練習②
【前期】 13～16回目	寸法、縮尺説明。
【前期】 17～19回目	■前期試験：実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	コマンド習得。
【後期】 24～27回目	照明機材などのテンプレート作成①
【後期】 28～31回目	照明機材などのテンプレート作成②
【後期】 32～35回目	仕込み図の作成。
【後期】 36～37回目	■後期試験：実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	CADソフト「Vectorworks」の使用法の習得及び舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解及び作成を習得することができるようになります。 また、授業を通じて、PCの使用法になれることによって柔軟な思考力を身につけます。
備考	特になし。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システム I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	イクイップメント I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし照明機材の取り扱いに関する実技指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。</li> <li>総合的に照明のシステム構造を理解する事で、オペレート技術の向上にも反映していく。</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。</li> <li>カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 5～8回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 9～12回目	劇場の照明パトンについての学習。
【前期】 13～16回目	劇場の照明パトンについての学習。
【前期】 17～19回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	さまざまな機材の説明、学習。
【後期】 24～27回目	ムービングライトを中心にした機能の学習。
【後期】 28～31回目	照明全般のシステムを理解する。
【後期】 32～35回目	スモークマシンなど照明効果の為のアイテムの説明。
【後期】 36～37回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明の知識を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレートⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	照明Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし舞台照明技術の発展に関する講義を行う。				
<b>授業概要</b>					
<p>①電源の入れ方やパッチの手順などの基本操作、並びにチェイスやストロボなど様々な機能を学び、メインコンソールのオペレート技術を身につける。</p> <p>②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての技術も同時に学んでいく。</p> <p>③最新式の照明コントローラを使用してムービングライトを含めた様々な照明機材の操作方法のレクチャー、ピンスポットの操作方法を繰り返し訓練する。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・学内の授業だけではなく、学外のコンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きや舞台構造を説明して、より照明スタッフとしての幅広い知識を習得する。</p> <p>・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	照明機材と、その使用方法の説明①
【前期】 5～8回目	照明機材と、その使用方法の説明②
【前期】 9～12回目	ピンスポットの使用方法、キューに反応できるスキルの習得。
【前期】 13～16回目	照明キューの解説。
【前期】 17～19回目	■前期試験：前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 20～23回目	コントローラーの習得。
【後期】 24～27回目	照明の方向性とビームのコンビネーション。
【後期】 28～31回目	サンプル曲を使った照明キューの作成①
【後期】 32～35回目	サンプル曲を使った照明キューの作成②
【後期】 36～37回目	■後期試験：実技試験を実施。課題を設定して、支持通りに照明コンソールを操作できるかの確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
備考	特になし。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし照明における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、搬入、ステージセッティング、楽器調整、サウンドチェック、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習①
【前期】 5～8回目	ホール設備を理解して仕込み作業の練習②
【前期】 9～12回目	照明コントローラーの習得①
【前期】 13～16回目	照明コントローラーの習得②
【前期】 17～19回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	前期復習、照明機材の取り扱い①
【後期】 24～27回目	照明機材の取り扱い①
【後期】 28～31回目	照明コントローラーの習得③
【後期】 32～35回目	実践練習。
【後期】 36～37回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力 / コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、セッティング、ステージ調整や撤収などの音楽スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。